

OD-Monitor A&S/C&T

**振とうを止めずに濁度(OD_{600})を
非接触モニタリング。BR/NRシリーズ
と組み合わせて使用します。**

特長

- 庫内で濁度を非接触モニタリング(特許)
- 試験管一本、三角フラスコごとに測定・記録
- 国内外170超の研究期間で実績
- 有用菌株の検討やスクリーニング[C&T]
- 増殖曲線取得の省力化
- サンプリングによるバックグラウンドの軽減

用途

*特徴、用途は右ページのB&Lと共に



培養しながら非接触で培養液のODが測定できるよ。振とうを止めず容器のフタも開けないので、ガス環境の変化といったサンプリング操作由来の代謝変動も気にせずに済むんだ。

培養における濁度測定を省力化

大腸菌等の培養液の濁度を、非接触で自動測定します。恒温振とう培養機BRシリーズや、振とう機NRシリーズと組み合わせて使用します(他社の振とう機は使用不可)。

PCでの記録について

振とう培養中に OD_{600} を自動測定/記録。手作業で必要な振とうの停止やキャップの開閉が不要です。データはPCへの自動記録も可能です。



USB端子にメモリーでのデータ出力、およびWindowsPCにて培養中のデータのリアルタイムのグラフ化が可能です。PC用のソフトウェアOD-Viewerはフリーソフトとなります(ダウンロードおよびセットアップ方法につきまして、詳しくはお問い合わせください)。

ウェビナー：
OD-Monitorシリーズ

OD-Monitorシリーズの測定原理、使用できる菌種・培地・容器の種類などの条件について紹介。

【ウェビナー】OD-Monitor 自動サンプリング -こんな簡単にはじめます-

測定の原理について

測定光の波長について

Movie

● A&SはODSensor-S1台で1チャンネルです。複数の試料を測定する場合はODSensor-Sを必要数お求めください。C&TはODBox-C1台で8チャンネルとなっており、ODBox-CにはODSensor-Tが1台接続できます。なお、組み合わせるバイオシェーカーの大きさによっては最大チャンネル数のODSensorが取り付けできない場合があります(下記参照)。(※2)使用環境温度範囲はOD-Sensor : +4°C~+50°C、OD-Box : +15°C~+35°Cです。(※3)A&Sでは容器固定に別売のツメクランプが必要です。またOD-Sensorはバイオシェーカーのツメクランプ振とう台に固定します。

更に詳しい情報はQRコードまたは<https://taitec.info/2026b/46>にて

●『バイオシェーカー BR』シリーズ→P.026 ~ 045 ●振とう機『NR』シリーズ→P.080 ~ 085



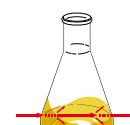
OD-Monitor A&S
(ODSensor-S 2台接続例)



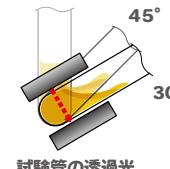
OD-Monitor C&T



大型BRへの設置例

小スケールの三角フラスコ
発現検討で(A&S)

三角フラスコの透過光

試験管でスクリーニングや
発現検討で(C&T)

試験管の透過光



OD-Monitor C&T+BR-23FP

型名	OD-Monitor A&S	OD-Monitor C&T
測定方式/範囲	透過光方式、 $OD_{600}=0.00\sim2.55$	透過光方式、 $OD_{600}=0.00\sim2.55$
適用容器	ガラス製三角フラスコ: 100/200/300/500mL および必要液量 液量: 20/40/60/100mL	ガラス製試験管: φ16.5/18.0mm 液量: 5mLまたは10mL
振とう方法	旋回振とう	往復振とう
振とう条件	80~400r/min (振幅25mm) 80~200r/min (振幅30/40mm) 80~250r/min (振幅50mm)	100~250r/min (振幅25/50mm) 試験管角度90/45/30°
測定間隔/チャネル数	1/5/10/30/60/120/240min、1~8チャンネル(A&S)/1~8チャンネル(C&T) (*1)	
測定可能温度範囲	+15°C~+50°C (*2)	
その他の機能	指定ODでアラーム、分光光度計への合わせこみ、USBメモリ記録(CSV形式)	
本体質量	1.9kg (ODBox-A)、0.2kg (ODSensor-S)	1.9kg (ODBox-C)、1.2kg (ODSensor-T)
価格 (*3)	ODBox-A: ¥250,000 ODSensor-S: ¥65,000 (1台)	ODBox-C: ¥277,000 ODSensor-T: ¥248,000
電源	100~125V 0.1A	
ODBox付属品	フラットケーブル(2m)×1 (A&Sのみ)	
ODSensor付属品	フラスコバッド大小各1、フラットケーブル(0.5m)×1 マグネットアダプター 2種各1、フラットケーブル(2m)×4	

(*1)A&SはODSensor-S1台で1チャンネルです。複数の試料を測定する場合はODSensor-Sを必要数お求めください。C&TはODBox-C1台で8チャンネルとなっており、ODBox-CにはODSensor-Tが1台接続できます。なお、組み合わせるバイオシェーカーの大きさによっては最大チャンネル数のODSensorが取り付けできない場合があります(下記参照)。(*2)使用環境温度範囲はOD-Sensor : +4°C~+50°C、OD-Box : +15°C~+35°Cです。(*3)A&Sでは容器固定に別売のツメクランプが必要です。またOD-Sensorはバイオシェーカーのツメクランプ振とう台に固定します。

A&S/B&Lは取り付け可能数が測定数となります。
C&Tは取り付け可能数×8が測定数となります。

BRシリーズ	振とう台	Sensor-S	Sensor-L	Sensor-T (*1)
BR-2Xシリーズ	MT-2925	3	1	2 (16本。Boxは2個)
BR-40 (*2) /41/42/43/53	MT-4030	5	2	3 (24本。Boxは3個)
BR-330	MT-6040	8	4	5 (40本。Boxは5個)
G-BRシリーズ	MT-7050	16 (Boxは2個)	5 (Boxは2個)	12 (96本。Boxは12個)
BR-3300シリーズ	MT-8060	20 (Boxは3個)	8 (Boxは2個)	14 (112本。Boxは14個)

(*1)角度45°時。(*2)BR-40ULは三角フラスコ2Lまで。

●ウェビナー OD-Monitor シリーズ ●PCでの記録について、分光光度計とのズレを補正する手順